

里区に関する略年表¹⁾

弥生時代後期 高地性集落（塚原遺跡・蔵持町里）が出現

蔵持村

672 年 日本書紀に「隠（なばり）の駅家を焚き」

1089 年 築瀬村が東大寺の保となる

1180 年 東大寺文書に「築瀬御庄字クラモチ²⁾」の記載

1581 年 織田信長が伊賀国を支配

1608 年 藤堂高虎が伊賀の領主に



1871 年（明 4） 廃藩置県により安濃津県（のち三重県）設置、名張郡が所属

1880 年（明 13） 築瀬村を名張村と改称

1889 年（明 22） （明治の大合併）名張郡に名張町・滝川村・錦生村・箕曲村・薦原村・蔵持村³⁾・比奈地村・国津村が発足（→ 右図）

¹⁾ 「おきつもの名張 今と昔」より恣意的に抜き出したもので、体系的なものではありません。

²⁾ 蔵持地区の名前の由来は、古代の名族車持（クルマチ）に通じると考えられています。（「名張市史」より）

³⁾ 蔵持村は、旧 6 村（下三谷、短野、夏秋、大屋戸、蔵持、狭田）が合併して編成

1942 年（昭 17） 蔵持村・薦原村・箕曲村を名張町に合併

1954 年（昭 29） （昭和の大合併により）名張市誕生

1959 年（昭 34） 伊勢湾台風上陸、市内で死者 11 名他未曾有の被害を受ける

1963 年（昭 38） 蔵持に名張初の工場誘致

1972 年（昭 47） 蔵持小学校新校舎完成

1973 年（昭 48） 蔵持小学校旧校舎が明治村に再現

同 緑が丘地区が里区より分離

1977 年（昭 52） 蔵持黒田遺跡（原出）で弥生時代の集団居住跡や土器発見

1979 年（昭 54） 蔵持原出の春日神社の「十三重塔」を市文化財に指定

1981 年（昭 56） 蔵持公民館完成

2003 年（平 15） 「伊賀地区六市町村との合併の可否を問う市民投票」実施、合併反対が多数

2006 年（平 18） 中央浄化センター、防災ステーション完成

2008 年（平 20） 武道館いきいき

2009 年（平 21） 里コミュニティセンター完成（公民館の移転）

＊ 現在の蔵持町は、明治以降、大きくは三度の合併を巡る激論を経て編成